

認知症は早期に発見し、適切な対応を取ることで、進行を抑えることが期待されます。また、医療や介護・

悩まそう相談を

2025年には日本における65歳以上の約700万人（高齢者の約5人に1人）が認知症になると予測されており、認知症とともに生きる（こが）できる社会（こが）づくりが求められています。

物忘れには、加齢によるものと認知症によるものがあります。区別することはなかなか難しいですが、脳の病気や障害などが原因で、日常生活に支障が出る状態を「認知症」といいます。

認知症は「脳の病気」

認知症は早期発見 早期治療が大切です

問合せ 高齢福祉課 ☎22-0080

福祉サービスにつながることで、本人や家族の不安・戸惑いの期間を短くすることにもなります。

地域包括支援センター（高齢福祉課）は、認知症の疑いで困っている人やその家族への相談支援を行っていますので、ぜひ相談ください。また、いつ・どこで・どのような医療や介護サービスを受ければ良いのかをまとめた「**高秋市認知症ガイド**」を高秋福祉課窓口または市ホームページで入手できます。



認知症初期集中支援チーム サポート医 松岡クリニック 石井 完治先生

「加齢によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」の違い(一例)

	加齢によるもの忘れ	認知症によるもの忘れ
体験したこと	一部を忘れる (例：朝ごはんのメニュー)	すべてを忘れている (例：朝ごはんを食べたこと自体)
学習能力	維持されている	新しいことを覚えられない
もの忘れの自覚	ある	なくなる
探し物に対して	(自分で)努力して見つけられる	いつも探し物をしている 誰かが盗ったなどと、他人のせいにする可能性がある
日常生活への支障	ない	ある
症状の進行	極めて徐々にしか進行しない	進行する

政府広報オンライン「もし、家族や自分が認知症になったら知っておきたい認知症のキホン」
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201308/1.html> から抜粋

募集 元気アップ運動教室



シルバーリハビリ体操で健やかな毎日を

問合せ 高齢福祉課 ☎22-0080

高秋市シルバーリハビリ体操指導士会(会長 坪和久男)の指導士が、下記の16か所の会場で体操指導を行っています。

会場ごとに定員がありますので、事前に高齢福祉課へお問い合わせください。

なお、参加は1人1教室となります。

- ▶対象 65歳以上の市民
- ▶料金 300円(保険料) ※初回のみ
- ▶持ち物 上履き・飲み物・タオル



【開催会場・日程】

会場	曜日	時間	会場	曜日	時間
有明集会所	第1・2・4 水曜日	10:00 ~ 11:00	石滝上の台集会所	第2・3 木曜日	10:00 ~ 11:00
旧教育委員会	第2・3・4 月曜日		高浜住宅集会所	第3・4 月曜日	
小島団地集会所	第1・2・3 水曜日		山手集落センター	第2・3・4 火曜日	
総合福祉センター	第1~4 月曜日	14:00 ~ 15:00	秋山南集会所	第2・4 木曜日	
和野集会所	第1・3・4 水曜日	10:00 ~ 11:30	駒木原集会所	第1・2・3 月曜日	
文化会館	第2・3・4 水曜日	10:00 ~ 11:00	松岡地区公民館	第1・3 火曜日	
島名多目的研修会館	第1~4 水曜日	13:30 ~ 14:30	竹内公民館	第1・2・3 金曜日	
			向洋台集会所	第2・4 木曜日	
			島名東集会所	第1・3 金曜日	

